

一九六一年五月二十五日
発行



第44卷 第3号

史学・地理学・考古学

- 室町時代の興福寺領荘園について…………… 熱 田 公 (1)
- 近世畿内農業と牛流通 (下) …………… 酒 井 一 (41)
——河内駒ヶ谷市を中心に——
- 居延漢簡とくにウラン・ドルベルジン
出土簡について …………… 森 鹿 三 (82)
- 近世日本地理学の性格と現代への意義 …………… 小 野 菊 雄 (96)
——山片蟠桃・司馬江漢を中心にして——

研究ノート

- アメリカ史学に見える保守主義の大勢…………… 今 津 晃 (125)
——ジョン・ハイアムの論文より——

批判と反省

- 東と西との結び方——歴史と国民感覚——…………… 越 智 武 臣 (144)

書 評

- 中国古代史研究会編：中国古代史研究…………… 永 田 英 正 (151)

学界消息・京都大学卒業論文題目・例会予告

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

“A Program for Conservatives”; “Academic Freedom” など広汎にわたる。現在ブースティン、ホフマン (Ross Hoffman) など並んで、「ネオ・コンサーヴァティヴ」の代表的人物とされる (Cf. The Book Review by John W. Lukacs in “The Commonweal” (July 24, 1953))。

Clinton Rossiter (1917-) ヨーネル大学政治学教授。フィラデルフィアに生れ、一九三九年ヨーネル卒業、四一年ブリンストン大学で修士、翌年学位をとる。四六年ミシガン大学講師、翌年ヨーネルに移り、五四年来正教授。著書に：“Seedtime of the Republic”; “Conservatism in America”; “The American Presidency” などがあり、一九五四年にはハンク・ロント賞とワット・ロー・ウィルソン賞とを授賞。

⑧ Eric McKittrick 人名録にも載らないほど、きわめて新進の歴史家。シカゴ大学の教壇に立っている。ブースティンの指導を受けたのもあろうか。著書に、今年発表の “Andrew Johnson and Reconstruction” がある。

⑨ Richard Chase (1914-) 英文学者、コロンビア大学教授。ニュー・ハンプシャー州レックポートに生れ、一九三七年ダートマス大学を卒業、三九年からコロンビア大学英文学講師 (一四五年)、四六年ここで学位をとり、以来今日までその教壇に立つている。“Herman Melville”; “Emily Dickinson”; “Walt Whitman Reconsidered” などの著書がある。

執筆者紹介

- | | |
|-------|-----------|
| 熱田 公 | 京都大学助手 |
| 酒井 一 | 京都大学研修員 |
| 森 鹿三 | 京都大学教授 |
| 小野 菊雄 | 京都大学大学院学生 |
| 今津 晃 | 京都大学助教授 |
| 越智 武臣 | 京都大学助教授 |
| 永田 永正 | 京都大学大学院学生 |

史家とが、別々の史料に読む目盛りをあげつらうばかりでなくて、東西結びついた局面の同一史料のうえに Broad over する日のあることを、私は待望する。そこに、東西史家ないし研究者の、限りなくも豊かな協力の場がひらける、と思う。身近くは、史学科本来の機能も發揮できる、と考えるのである。が、これもまた、もの知らぬ痴呆の願いであろうか。

最後に、私、さきにも引用したことのあるジョージ・オーウェルのことばを思うのだ。「何といつたつて、それは君の文明だ。それは君自身なのだ。いかに憎もうが、笑おうが、片時もそれから離れて、心安らかであるはずがない。」この奇特な社会主義者が、ここで「君」といつているのは、もちろんイングランドのことである。だが、膳を向けかえたいうえで、私もまたこのギリギリ結着の立場をば、あらゆる文化認識の出発点だ、と信ずる。自国文化に口笛吹いてすましている歴史家を私は軽蔑する。

① 加藤周一「外国文学のうけとり方と戦後」『文学』二八号五卷、一九六〇年）五頁。

② George Orwell, England, Your England, 1959.

〔付言〕 同様な発言を私は以下のもでも書きつけておいた。「英
国地方史研究管見(四)——外国史をどううけとるか——」(『西洋史
学』47号、一九六〇年)「新しい国民史研究の提唱」(『新しい歴史
学のために』一九六〇年)

史学研究会例会予告

日時 六月三日(土)午後一時

場所 京都大学史学科第二教室

講師・演題

「太閤検地論」の批判に答える

宮川 満氏

地理学専攻

会津盆地の都市地理研究

岩下 芳秋

福井平野とその周辺における中世の城館

小林健太郎

相模原市工場誘置の地理学的諸問題

佐々木 裕

佐賀平野の開発過程と搦干拓

野田 茂生

〔修士課程〕

古代倉敷の地理的位置について

足利 健亮

都市の規模・機能・成長と産業構造

小森 星児

中国における少数民族と辺境問題

斎藤 晨二

〔博士課程単位修得者研究発表題目〕

地理学史上のビエル・ダイについて

高橋 正

考古学専攻

近畿地方の古墳群と古代豪族との関係

堤 圭三郎

北米の Burial Mound 期文化

鶴巻 省吾

本邦玻璃製品について

吉本 堯俊

〔修士課程〕 Hand-axe文化の生成とその発展 河原 純之

銅鑛の諸問題

佐原 真

会 告

本会委員中村幹雄氏は、大阪学芸大学赴任のため三月三十一日を以て辭任し、代つて山本茂氏が委嘱されました。右お知らせいたします。

史学研究会

正 誤 表

四四巻二号所載「東国出身の防人達」に、次の誤植がありましたので訂正いたします。

一三〇頁下段七行目

〔誤〕而後、接乎開元・朔方・隴右・河東・河西諸鎮、

〔正〕而後、接乎開元・朔方・隴右・河東・河西諸鎮、

河西諸鎮、

編 集 後 記

さわやかな新緑の候がめぐつて参りましたが、会員の皆様には、お変わりなくお励みのことと存じます。本号から「批判と反省」欄を粧を新たに復活いたしました。一読されればおわかりと存じますが、日本史・東洋史・西洋史・地理・考古学が互に協同しあう、という本会の特色を生かして、専攻外の学問に対して、特に方法論や研究の現状に対して批判を加えようと思図しています。皆様の御意見と御投稿をお待ちいたします。なお、本会の財団法人改組の件ですが、文部省の認可が未だおりておりません。従いまして、四四巻一号でおことわりいたしました会員名簿の発行も今しばらくお待ちいただきたく、重ねてお願い申し上げます。（山本茂）

史 林

（第四四巻第三号）

一九六二年四月二五日印刷 定価一八〇円
一九六二年五月一日発行

発行所 史 学 研 究 会

理事 長 宮崎市定
編集主任 赤松俊秀

印刷所 中村印刷株式会社

京都市左京区吉田木町
京都大学文学部内
振替京都五一五五番
京都市下京区西七条御所ノ内東町三九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLIV, No. 3 May, 1961

CONTENTS

Articles :

- Manor of the *Kōfukuji* 興福寺 temple in
the *Muromachi* 室町 Era*I. Atsuta* (1)
- Kinai* 畿内 Agriculture and Bull
Distribution in the *Edo* Era (Ⅱ)*H. Sakai* (41)
—the case of *Komagatani* 駒ヶ谷 Fair in *Kawachi* 河内—
- Documents of the *Han* Dynasty on
Wooden Slips From Edsin-Gol
Region especially Ulan-Durbeljin*S. Mori* (82)
- A Character of Geographical Thought
in the Late *Edo* Era*K. Ono* (96)
—On *Bantō Yamagata* and *Kōkan Shiba* 山片蟠桃・司馬江漢—

Note :

- Main Current of Conservatism
in the American Historiography*A. Imazu* (125)

Review & Criticism :

- A Suggestion to the Recent Historiography*T. Ochi* (144)

Book Reviews & news

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan